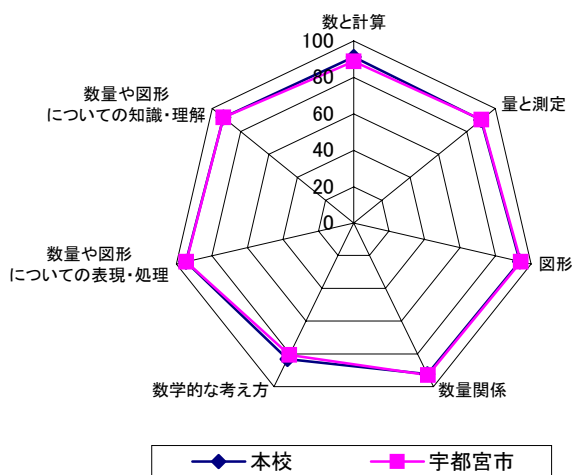


宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	91.2	88.7
	量と測定	89.9	90.4
	図形	93.8	94.3
	数量関係	92.2	93.0
観点別	数学的な考え方	83.2	80.6
	数量や図形についての表現・処理	94.6	94.3
	数量や図形についての知識・理解	92.1	92.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (91.2%)	宇都宮市の正答率をわずかに上回っている。特に、分数の乗法の文章題については、立式も解答もよく理解されていて、市の平均より10%ほど高い。	プリントを活用し計算力を向上させ、計算力の定着に努める。また、計算ドリルを復習することで分数と整数の除法や分数同士の除法を再度確認し、基礎力をつけるようにしていく。
量と測定 (89.9%)	宇都宮市の正答率とほぼ同様である。単位量あたりの大きさを求める方法が十分理解されていない。	問題の内容を理解するために、図や表に表すことで、理解を深めるように指導していく。プリント等を使い練習問題を解きながら復習させていく。
図形 (93.8%)	宇都宮市の正答率とほぼ同様である。三角柱のしくみについては、ほぼ100%の正答率で十分理解しているといえる。が、円柱の名称を忘れてしまっている児童がいた。	直方体や立方体の構成要素や名称を、再度教科書など使って確認していく。また、問題も解き一層理解できるよう努める。
数量関係 (92.2%)	宇都宮市の正答率とほぼ同様である。文字を使った立式とその解答を求めることの理解が十分ではなかった。	教科書で再度丁寧に復習し、基本的考え方を理解させ、計算ドリルで復習をしていく。プリント学習をすることで、定着を図る。